

講座名

パソコン

(熊本)

支部

参加数

6

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

実施場所 熊本再春荘病院 南1病棟 パソコン室

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

普段何気なく使っているインターネットやキャラクターに著作権があることを話した。次回からパソコンを使った具体的な制作活動に入ることを伝えた。

著作権は、著作権法という法律があること。具体的には、文芸、学術、美術、音楽などのジャンルに入り、人間の思想、感情を創作的に表現したものをインターネットの画面を通して説明をした。また、クイズ形式で画面を見ながら一人一人のペースで進めることができるように工夫した。わたしたちの身近な生活の中に著作権が多くあることを気づいてもらう機会になったと考える。

患者の方からは、「初めて知った」「楽しかった」「知ってたけど、わかった」等の感想をもらうことができた。

講座名

パソコン

(熊本)

支部

参加数

6

実施場所 (独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

季節が夏ということもあり、「暑中見舞い」の葉書作成を行うことにした。この経験を年末の「年賀葉書」作成にもつなげられるのではと考えるのを実施とした。趣旨説明の中で、暑中見舞いの葉書を作成をすることを告げると「以前、作ったことがある。」「あの人に出そうかな」等の積極的な声を聞くことができた。まず、第1回目は、「題材探し」を目標とした。題材の取り込み方として、デジタルカメラを活用することにした。デジタルビデオカメラの使い方(シャッター・ピントの合わせ方・望遠)について説明した。また、撮影しづらいときは、周囲の人と協力してやることを伝えた。撮影においては、外出できる患者さんは、外に出かけ夏をイメージする写真をとることにした。帰棟されると「ひまわりや夏野菜をとった」と元気に話をされていました。

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

今回は、3回目の取り組みであった。使用するソフトは、入力しやすく以前使ったことのある物にした。まず、先日撮影したデータをパソコンに取り組み事を行った。カードリーダーを使って取り込んだ。取り込んだ際に写真が、画面に大きく映し出されたので「びっくり」されていた。その他にいろいろな写真を取り組み事で、画像を重ねたり、反転させたりと自由にパソコンを操作されていた。次に、用紙を設定して取り込みたい画像を選択し、配置を決定して保存した。画像を回転させたり、大きさを変えたりと自由に操作されていた。操作されているときは、ニコニコして笑顔で活動されていたのが印象的でした。

最後に、誰に暑中見舞いの葉書を出すのかを決めておくことを伝えて修了した。

講座名

パソコン

(熊本)

支部

参加数

6

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

今回が、「暑中見舞い葉書」作成の最終日となった。今回は、「暑中見舞い申し上げます、2012、夏、住所」等の文字入力までおこない、発送まで計画した。「暑中見舞い申し上げます」の文字には、文字色をつけたり、いろいろなレイアウトを楽しんで作成されていた。宛先入力においては、文字パレットを使っての入力を行った。初めての体験であったが、「キーボードを1つ1つ押すよりも入力しやすい」との声が聞けた。文字入力においては、一人一人に応じた配慮が必要である事が多い。しかし、入力機器においては、限られた範囲になることからできる限り、パソコンの機能として備わっているものを活用していきたい。できあがった葉書は、学校の先生等に発送した。今回の感想を聞くと「思ったより、うまくできた。今度は、年賀葉書を作りたい」との抱負も聞く事ができた。次回の活動として、カレンダー作成をすることを伝えて修了した。

講座名

パソコン作品 (熊本) 支部 参加数 6

残暑見舞い
ハガキ

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

作品例写真



実施を終えて(感想等)

暑中見舞いの葉書作成では、写真を自分で撮る。文字を入力する。印刷をする。送信するといった活動を3回に分けて行いました。どの回も積極的に参加していただき、また、暑い中でしたが元気に活動されたことよかったです。

特に、写真を実際に撮影に行かれたことは、より積極的に活動するきっかけになったと思います。できあがった作品を周囲の人に「病院のひまわりです」「学校で育てたきゅうりです」とニコニコしながら話されている姿が印象的でした。

葉書作成をきっかけに、普段なかなか会えない人へ近況報告ができる活動を盛り込めたことは、様々な面においてこれからの生活を有意義に過ごすきっかけになればと感じました。

講座名

パソコン

(熊本)

支部

参加数

6

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

誕生日や外出等を入力することで、できる限り自分だけのカレンダーを意識して作ることにした。これまでは、画像を貼り付けたことはあるが、誕生日や病棟の夏祭り等の行事を入力したことがなかった。まず、自分や家族の誕生日、好きな芸能人の誕生日など自由に設定し書き留める活動を行った。興味・関心のある好きな芸能人については、インターネットを使っていろいろなことを調べていった。例えば、節分などの年中行事については、「春・夏・秋・冬の区切りのことで、節分は4回あった」事などを教えてくれた。カレンダー作成をきっかけに年中行事や様々な事に興味・関心が広がったことはよかった。

次に、カレンダーの大きさや形式を具体的に印刷したものを提示して、わかりやすい環境を作った。「私は、これがいいな」等の見通しを持つことができました。

講座名

パソコン

(熊本)

支部

参加数

6

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

今回は、実際にソフトウェアを起動して入力を行った。入力の方法としては、前回の活動で用いた文字パレットを活用した。文字入力においては、前回の経験があることからスムーズに入力をする事ができていた。入力方法を通常ローマ字入力であれば、ローマ字入力するなど普段使わない方法での活動を行った。参加者の方からは、「普段使わないキーを探すのに手間取ったけど、仮名(いす)とローマ字入力(i s u)でキーを押す回数が違うことに改めて関心した」等の意見もあった。いろいろなことを体験してもらう事も新しい気づきや発見に繋がり、パソコン操作への興味・関心に繋がることを感じた。

集中した活動になったので、適宜休憩等を入れての活動とした。

講座名

パソコン

(熊本)

支部

参加数

6

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

前回に引き続き、カレンダー作成に取り組んだ。取り組む内容がわかっているので、意欲的に取り組んでおられた。各月の必要な入力が終わるとカレンダーの挿絵の図柄やイラスト、データの挿入に取り組んだ。取り込む方法は、前回の葉書作成と同じため、1度確認を行った。確認ができたことで、患者の方はスムーズに活動をされていた。

完成したものは、印刷して周囲の方や保護者の方に見てもらうようにした。自分の好きなキャラクターなどを挿絵として載せることができ満面の笑顔を浮かべている姿が印象的であった。

講座名

パソコン作品 (熊本) 支部 参加数 6

カレンダー

実施場所

(独)国立病院機構 熊本再春荘病院
南1病棟パソコンルーム



実施を終えて(感想等)

カレンダーは、患者の方々にとって身近で、毎年必要なものと考え取り組みました。1人の方は、暑中見舞い葉書で作られた時に使用した写真を夏のカレンダーに挿絵として挿入されました。「いち早く、向日葵がみられるから」との話がありました。また、「次の月が近くなってから作るのもいいな」という意見もありました。どの作品も「こうしたい」という自分の意志やおもいが感じられる作品になったと思います。

今回の7回の取り組みを通して、患者の方々の生活に密接な題材を設定し活動することは意義があるものと感じました。